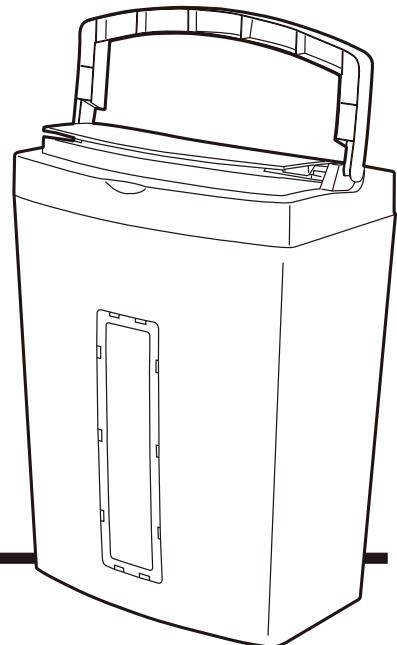


マイクロカット オートフィードシュレッダー 品番 S79MF/SA79MF 取扱説明書



お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

 この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用の前に、「安全上のご注意」(1・2ページ)を必ずお読みください。

この取扱説明書は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

ご注意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障・不具合がありましたら、お買い上げの販売店までお申し付けください。
- お客様または第三者がこの製品及び付属品の使用誤り・使用中に生じた故障・その他の不具合・使用によって受けられた損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- この製品は情報の復元・流出の防止を保証するものではありません。

仕 様			
定格細断枚数	【A4コピー用紙68g/m ² 】 50/60Hz時：7枚	操作機能	電源スイッチ オートスタート&ストップ機構 自動停止安全スイッチ 逆転スイッチ フィーダーカバースイッチ フィーダーカバー開閉機構 トレースイッチ
最大細断枚数 (10回連続で細断可能な枚数)	【A4コピー用紙68g/m ² 】 50/60Hz時：8枚 50/60Hz時：102秒間	使 用 電 源	AC100V(50/60Hz)
オートフィードセット枚数	60枚	消 費 電 力	50/60Hz時：300W
細 断 尺 法	3×10mm マイクロカット	給 紙 口 幅	220mm
ダストボックス容量	約20ℓ A4コピー用紙7枚ずつ細断時：約466枚 A4コピー用紙オートフィード細断時：約334枚	コ ー ド の 長 さ	約1.5m
細 断 速 度 (A4コピー用紙1枚時)	50Hz時：約2.7m/分 60Hz時：約2.8m/分	外 形 尺 法 (組合せ時、突起部含まず)	W318×D201×H435mm
定 格 使 用 時 間	5分間	質 量 (組合せ時)	約6.3kg
制 御 機 能	温度ブレーカー 警告ランプ 細断屑満杯センサー	付 属 品	取扱説明書・保証書

※60Hzでは細断枚数が1~2枚少なくなる場合があります。

※最大細断枚数や細断枚数は環境・紙質・投入方法などにより変化する場合があります。

※最大細断枚数とは、10回連続で細断可能な枚数です。(細断率90%以上) 長くご使用いただくために、定格細断枚数での細断をおすすめします。

安全上のご注意

この取扱説明書および製品には、ご使用になる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害・損害の程度を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

! **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う恐れがある」内容です。

! **注意** この表示の欄は「けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分しています。(図記号の一例です)

! この記号はしてはいけない「禁止」内容です。

! この記号は必ず実行していただく「強制」内容です。

!**警告**



説明書を読む



**内部に可動部がある
接触しないように注意する
けがをする恐れがあります。**



**エアーダスター・殺虫剤等の
スプレーを絶対に使用しない
可燃性のガスに引火して
爆発する恐れがあります。**



**内部に鋭利な角・縁がある
接触しないように注意する
けがをする恐れがあります。**



**交流100V以外の電圧で
使用しない
感電・火災の原因になります。**



**子供の手の届く所で
使用しない
けがをする恐れがあります。**



**絶対に
分解・修理・改造をしない
けがをする恐れがあります。
修理は販売店までお申し付けください。**



**給紙口・排出口に
指を入れない
けがをする恐れがあります。**



**電源コードを傷つけたり、加工したり、
ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、
重い物を載せたり、束ねたりしない
ショート・感電・火災の原因になります。**



**給紙口に衣類等を
近づけない
けがをする恐れがあります。**



**電源コードが破損した時は
ご自身で修理しない
ショート・感電・火災の原因になります。
修理は販売店までお申し付けください。**



**給紙口に髪の毛を
近づけない
けがをする恐れがあります。**



**お手入れの時は
プラグを必ず抜く
けがをする恐れがあります。**



**給紙口に
装飾品等を近づけない
けがをする恐れがあります。**



**水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。**

⚠ 注意



**熱器具に
近づけない**
ショート・感電・火災の
原因になります。



**紙が詰まった状態で電源を
入れたまま放置しない**
火災の原因になります。



ぬれ手禁止
**プラグをぬれた手で
抜き差ししない**
感電の原因になります。



プラグを抜く
**フィーダーカバーをロック穴から外す時・
細断屑を捨てる時・本体を外す時・使用後は
電源を切りプラグを必ず抜く**
けがをする恐れがあります。



強制
**プラグは根元まで
確実に差し込む**
感電・火災の原因になります。



**トレー開閉時・フィーダーカバーを
ロック時・本体を置く時は
指をはさまないように注意する**
けがをする恐れがあります。



プラグを抜く
**移動させる時は電源を切り
プラグを必ず抜く**
ショート・感電・火災の
原因になります。



細断中は
**フィーダーカバーをロック穴から外さない・
本体を外さない**
けがをする恐れがあります。



**プラグを抜く時は
電源コードを引っ張らず
プラグを持って抜く**
ショート・感電・火災の
原因になります。



**湿気、水気のある所・
直射日光の当たる所・
屋外に設置しない**
故障・感電の原因になります。



禁止
タコ足配線をしない
感電・火災の原因になります。



不安定な所に設置しない
けがをする恐れがあります。



プラグを抜く
**しばらく使用しない時は
電源を切り
プラグを必ず抜く**
事故・感電・火災の原因になります。



**電源コードを束ねたまま
使用しない**
故障・火災の原因になります。



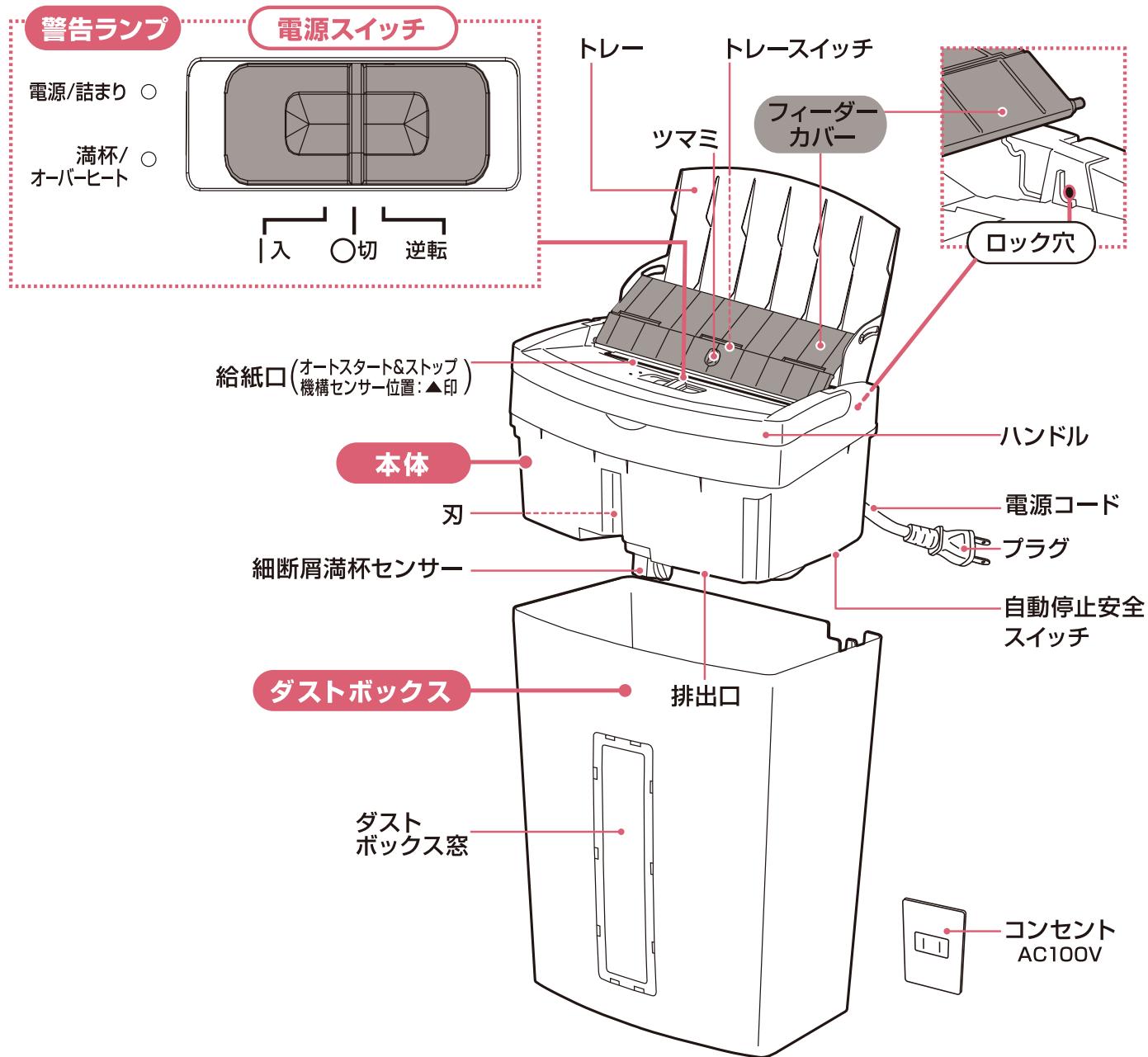
細断禁止物は入れない
故障の原因になります。
10/11号以外のステープラー針は
必ず取り外して入れてください。



**フィーダーカバーをロック穴から外す時・
細断屑を捨てる時・本体を外す時は内部の
可動部、鋭利な角、縁に接触しない**
けがをする恐れがあります。

各部の名称

●細断検査の為ダストボックスや刃に細断屑が残っている場合がありますが
あらかじめご了承ください



設置の仕方

- 移動時はプラグが抜けていることを必ずご確認ください
- 本体はコンセントの近くに設置してください
- いつでも簡単にプラグが抜き差しできるようコンセントの周りに物を置かないでください

- ① ダストボックスを水平で安定した所に設置してください。
- ② ハンドルを持ち上げてダストボックス窓が正面にくるよう本体をダストボックスにしっかりと置いてください。
 - ハンドルを持ち上げる時はトレーを閉じてください。
 - 本体を反対に置くとご使用できません。
 - 指をはさまないようにご注意ください。
 - 細断屑満杯センサーが引っ掛らないようご注意ください。

スイッチと主な機能

電源/詰まりランプ	緑色点灯	電源スイッチ 入	トレーをフィーダーカバーが完全に広がる位置まで開き、電源スイッチを入になると電源が入り、電源/詰まりランプが緑色点灯します。 紙や紙束を給紙口に入れると細断を開始し、細断後停止します。
	消灯	電源スイッチ 切	電源スイッチを切になると電源が切れます。 ●使用後は電源スイッチを切にし電源を切ってください。 ●フィーダーカバーをロック穴から外す時・しばらく使用しない時・細断屑を捨てる時・お手入れの時・本体を外す時・移動する時は電源スイッチを切にし、トレーを閉じてプラグを必ず抜いてください。
橙色点灯	電源スイッチ 逆転	電源スイッチを逆転にすると刃が逆転します。 細断を中止する時・詰まった紙や紙束を取り出せない時・電源/詰まりランプが橙色点灯した時は電源スイッチを逆転にしてください。	
満杯/オーバーヒートランプ	青色点灯	細断屑 満杯 センサー	満杯/オーバーヒートランプが青色点灯したら細断屑を捨ててください。P.6「細断屑の捨て方」参照 細断屑が満杯になると満杯/オーバーヒートランプが青色点灯します。
	赤色点灯	温度 ブレーカー	満杯/オーバーヒートランプが赤色点灯したら、電源スイッチを切にし、モーターの温度が下がるまで約90分間休ませてください。 長時間使用した時・モーターに過度の負荷がかかり過ぎた時等、モーターの温度が上昇すると刃の回転が停止し、満杯/オーバーヒートランプが赤色点灯します。
フィーダーカバー スイッチ (フィーダー カバー) 開閉機構			刃に細断屑が残ってる場合を除き フィーダーカバーをロック穴から外さないでください フィーダーカバーがロック穴にロックされていないと、安全のため電源が切れ、全てのランプが消灯します。 ●ツマミを回すとフィーダーカバーがロック穴から外れ、電源が切れ、全てのランプが消灯します。 ●フィーダーカバーをロック穴から外す時、電源スイッチを切にし、プラグをコンセントから必ず抜いてください。 ●フィーダーカバーをロック穴から外した時、本体内部の鋭利な角や縁には接触しないでください。
トレスイッチ			トレーを閉じると、節電や電源切り忘れ防止のため電源が切れ、全てのランプが消灯します。 ●使用するときはトレーをフィーダーカバーが完全に広がる位置まで開き、電源スイッチを入にしてください。 ●そのまま使用しない時は電源スイッチを切にし、プラグを必ず抜いてください。
自動停止安全 スイッチ			ダストボックスが本体から離れた時、安全のため電源が切れ、全てのランプが消灯します。 電源スイッチを切にし、トレーを閉じ、ハンドルを持ち上げてください。 ダストボックス窓が正面にくるよう本体をダストボックスにしっかり置いてください。

手差し細断

故障の原因になるため絶対にお守りください

以下の細断禁止物は入れないでください

10/11号以外のステープラー針・ゼムクリップ・シールや運送会社の送り状等 粘着剤つきの紙・両面テープ・ダンボール・厚紙・和紙等の柔らかい紙・湿った紙・新聞紙・カーボン紙・ラミネートされた紙・ラベル、のり、フィルムがついた紙・透明の封筒や窓つき封筒・CD・DVD・ポリ袋・金属類・プラスチック類・布類・ビニール類



細断枚数をお守りください

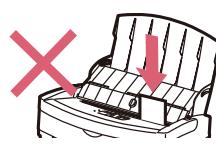
- 定格細断枚数はA4コピー用紙**7枚**です。
- 10/11号のステープラー針は定格細断枚数内で**手差し細断**が可能です。
10/11号以外のステープラー針は必ず取り外して入れてください。
- 針なしステープラーを使用した紙はそのまま入れないでください。
1枚ずつほぐし、枚数を確認してから入れてください。
- DMやカタログが入ったままの**厚い封筒**を入れないでください。
細断枚数過剰・細断禁止物の混入を防ぐため、中身を出して別々に入れてください。
- 紙を折ったまま入れる時は枚数をご確認ください。

お願い

- オートフィード細断と手差し細断は同時に使用できません。



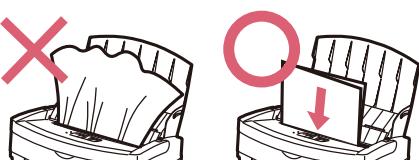
- 紙は給紙口の▲印に合わせて**まっすぐ**入れてください。



- 小さい紙は、給紙口の▲印の中心に合わせて**横向き**に入れてください。
オートスタート&ストップ機構センサーが感知し、細断を開始します。

- 給紙口の幅より大きい紙は、**折って入れ**てください。

折った時に定格細断枚数を超えた枚数にならないようにしてください。



大きいままで入れない

- 通常の細断・続けて細断する時は定格細断枚数以内で細断してください。

- 一時的に最大細断枚数の細断が可能ですが、長くご使用いただくために定格細断枚数以内での細断をおすすめします。
- 最大細断枚数とは10回連續で細断可能な枚数です。(細断率90%以上)

- 湿度が高い時・紙質により細断できない時は細断枚数を減らして入れてください。

- 続けて細断する時は**細断が完全に終わってから**次を入れてください。

- コンピューター用紙等の連続用紙は切り離して入れてください。

- 定格細断枚数を続けて**手差し細断ができる時間**(定格使用時間)は**5分間**です。

満杯/オーバーヒートランプが赤色点灯したら電源スイッチを切にし、モーターの温度が下がるまで約90分間休ませてください。

- 細断屑をこまめに捨ててください。**

満杯/オーバーヒートランプが青色点灯したら細断を停止して、細断屑を捨てください。

P.8「細断屑の捨て方」参照

- 本体はコンセントの近くに設置してください
- いつでも簡単にプラグが抜き差しできるようコンセントの周りに物を置かないでください

手差し細断の仕方

- ① プラグをコンセントに差し込み、トレーをフィーダーカバーが完全に広がる位置まで開いてください。
- ② 電源スイッチを**入**にしてください。
電源/詰まりランプが緑色点灯します。
- ③ 紙を給紙口に入れてください。
紙を入れると細断を開始し、細断後停止します。
- ④ 使用後は電源スイッチを**切**にし、トレーを閉じてください。
 - 全てのランプが消灯します。
 - 指をはさまないようにご注意ください。
 - しばらく使用しない時はプラグを必ず抜いてください。

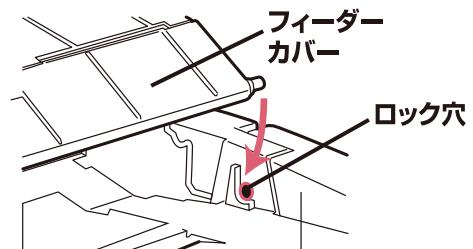
手差し細断中に紙が詰まった時

- ① 電源スイッチを**切**にしてプラグを必ず抜き、ダストボックスの細断屑を捨ててください。P.8「細断屑の捨て方」参照
捨てた後プラグを差し込んで電源スイッチを**入**にしてください。
- ② 電源スイッチを**逆転**にしながら詰まった紙を取り出してください。
- ③ 紙を再度入れてください。
詰まった紙は細断枚数を減らし、細断していない方向から、再度手差し細断をしてください。



刃に細断屑が残っている場合

- ① ツマミを回し、フィーダーカバーをロック穴から外し、フィーダーカバーを上に畳んでください。
 - フィーダーカバーをロック穴から外す時は電源スイッチを**切**にし、プラグをコンセントから必ず抜いてください。
 - 指をはさまないようにご注意ください。
- ② 刃・破損に注意しながら残っている細断屑をピンセット等で取り除いてください。
取り出せない時は、故障する恐れがありますので、無理に取り出さないでください。
電源スイッチを**切**にしてプラグをコンセントから必ず抜きP.9「保証とアフターサービス」をお読みいただいてから修理をお申し付けください。
- ③ ツマミを回しロック穴にフィーダーカバーをロックして、電源スイッチを**入**にしてください。
 - フィーダーカバーがロック穴にロックされないまま無理にトレーを閉じないでください。
 - 回したツマミはトレーを閉じるため寝かせてください。
 - 指をはさまないようにご注意ください。



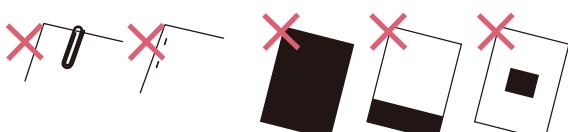
オートフィード細断

故障の原因になるため絶対にお守りください

オートフィード細断
A4・B5コピー用紙の紙束専用です
それ以外の紙束は手差し細断をしてください

以下に表記のオートフィード細断禁止物や
オートフィードセット枚数以上は
入れないでください。

A4、B5コピー用紙以外の紙束・色の濃い紙束・
オートフィードで詰まった紙束・
オートフィードセット枚数以上のコピー用紙の紙束・
ステープラーの針やゼムクリップがついた紙束・
しわ、やぶれ、折ったままの紙束・波打った紙束・
湿気を含み重なった紙束・乾いていない紙束・
変形した紙束・不揃いの紙束



オートフィードセット枚数をお守りください

●一度にセットできる枚数(オートフィードセット枚数)はA4・B5コピー用紙**60枚**です。

●**オートフィード細断中は紙を継ぎ足さず、トレーを動かさないでください。**
故障の原因になります。

オートフィード細断中やむなくトレーに紙束を追加する時はトレーの紙束をすべて撤去して追加の紙束と揃えてください。揃えた紙束をトレーに差し込んでください。

●**針なしステープラーを使用した紙束はそのままセットしないでください。**
1枚ずつほぐし、枚数を確認してからセットしてください。

お願い

- トレーにセットして一回目のオートフィード細断は紙送りに時間がかかる場合があります。
- 数分しても紙送りされない場合、トレーの紙束を一度撤去して揃えてください。
揃えた紙束をトレーに差し込んでください。
- 更に紙送りされない場合、手差し細断をしてください。
- オートフィード細断と手差し細断は同時に使用できません。
- 細断前の紙束は細断停止を確認してから、トレーにセットし直してください。
- 詰まった紙束は細断していない方向から手差し細断をしてください。
- 紙束をトレーの奥にまっすぐ差し込んでください。



●トレーに差し込む紙束の面が波打ちや湿気により不揃いな時・湿度が高い時・紙質により細断されない時は手差し細断をしてください。

●スムーズに紙送りされない時はセット枚数を減らして入れてください。

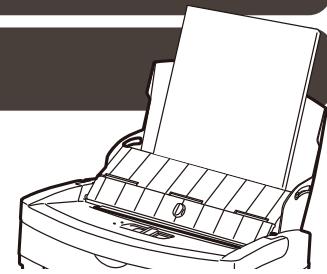
●**オートフィード細断ができる時間**(オートフィード使用時間)は**約21分間**です。
満杯/オーバーヒートランプが赤色点灯したら、電源スイッチを切にし、モーターの温度が下がるまで**約90分間**休ませてください。

●**細断屑はこまめに捨ててください。**
満杯/オーバーヒートランプが青色点灯したら細断を停止して、細断屑を捨ててください。P.8「細断屑の捨て方」参照

- 本体はコンセントの近くに設置してください
- いつでも簡単にプラグが抜き差しできるようコンセントの周りに物を置かないでください

オートフィード細断の仕方

- ① プラグをコンセントに差し込み、トレーをフィーダーカバーが完全に広がる位置まで開いてください。
- ② **揃えた紙束**をトレーの奥にしっかり差し込んでください。
- ③ 電源スイッチを**入**にしてください。
電源/詰まりランプが緑色点灯します。
- ④ 紙送りされ、自動的に細断を開始し、トレーの紙束がなくなると停止します。
- ⑤ 使用後は電源スイッチを**切**にし、トレーを閉じてください。
 - 全てのランプが消灯します。●指をはさまないようにご注意ください。
 - しばらく使用しない時はプラグを必ず抜いてください。



オートフィード細断中に紙束が詰まった時

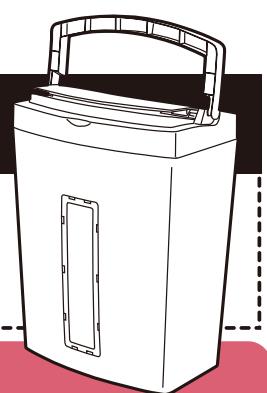
- ① 電源スイッチを**切**にしてプラグを必ず抜き、ダストボックスの細断屑を捨ててください。P.8「細断屑の捨て方」参照
捨てた後プラグを差し込んで電源スイッチを**入**にしてください。
- ② トレーの紙束をすべて撤去し、電源スイッチを**逆転**にし、詰まった紙束を取り出してください。
刃に細断屑が残っている場合はP.6「刃に細断屑が残っている場合」を参照してください。
- ③ 詰まった紙束は細断していない方向から、
手差し細断をしてください。P.6「手差し細断の仕方」参照



細断屑の捨て方

- ① 電源スイッチを**切**にし、トレーを閉じて、プラグを必ず抜いてください。
指をはさまないようにご注意ください。
- ② ハンドルを持ち上げ本体を外し、細断屑を捨ててください。
細断屑満杯センサーが引っ掛らないようご注意ください。
- ③ 捨てた後はダストボックス窓が正面にくるよう
本体をダストボックスにしっかりと置いてください。
指をはさまないようにご注意ください。

奥まで
しっかり置く



細断屑はこまめに捨ててください

細断屑が排出口まで溜まると故障の原因になります

ダストボックスの容量は

【手差し細断】A4コピー用紙**約466枚**※7枚ずつ細断時

【オートフィード細断】A4コピー用紙**約334枚**※オートフィード細断時

お手入れの仕方

●電源を切りプラグを必ず抜いてください

乾いた柔らかい布で、乾拭きしてください。

●汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤を少しつけた布で拭いてから乾いた布で拭きとってください。

●シンナー・ベンジン・揮発性の液体・クレンザー等の研磨剤は使用しないでください。変質・変色の原因になります。

故障かな?と思った時

こんな時は	チ ェ ッ ク	処 置
刃が回転しない	電源/詰まりランプが緑色点灯していますか?	プラグは根元まで確実に差し込み、トレーをフィーダーカバーが完全に広がる位置まで開き、電源スイッチを入にしてください。
	電源/詰まりランプが橙色点灯していませんか?	紙を取り出してください。P.6「手差し細断中に紙が詰まった時」P.8「オートフィード細断中に紙束が詰まった時」参照
	満杯/オーバーヒートランプが青色点灯していませんか?	細断屑を捨ててください。P.6「細断屑の捨て方」参照
	満杯/オーバーヒートランプが赤色点灯していませんか?	電源スイッチを切にしてモーターの温度が下がるまで約90分間休ませてください。
	フィーダーカバーがロック穴にロックされていますか?	ツマミを回しロック穴にフィーダーカバーをロックしてください。
	ダストボックス窓が正面にくるよう本体がダストボックスにしっかりと置かれていますか?	ハンドルを持ち上げダストボックス窓が正面にくるよう本体をダストボックスにしっかりと置いてください。
	給紙口の▲印に合わせて入っていますか?	給紙口の▲印に合わせてまっすぐ入れてください。
刃が回転しても細断しない	電源/詰まりランプが橙色点灯していませんか?	紙を取り出してください。 P.8「オートフィード細断中に紙束が詰まった時」参照
	最大細断枚数を超えた枚数を入れていませんか?	細断枚数を減らしてください。
オートフィード細断で紙送りされない	トレーにセットして1回目の紙送りではないですか?	揃えた紙束をトレーに差し込み、更に紙送りされない場合は手差し細断をしてください。
	セット枚数が合ってますか?	スムーズに紙送りされない時はセット枚数を減らして入れてください。
	揃えた紙束がトレーの奥にしっかりと差し込まれていますか?	揃えた紙束をトレーの奥にしっかりと差し込んでください。
	電源/詰まりランプが橙色点灯していませんか?	紙を取り出してください。 P.8「オートフィード細断中に紙束が詰まった時」参照
	オートフィード細断禁止物を入れていませんか?	オートフィード細断禁止物を入れないでください。 P.7「故障の原因となるため絶対にお守りください」参照
	フィーダーカバーがロック穴にロックされていますか?	ツマミを回しロック穴にフィーダーカバーをロックしてください。

保証とアフターサービス ●よくお読みください

修理・ご不明な点等はまずお買い上げの販売店までお申し付けください

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上 販売店からお受け取りください
内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■保証期間は **お買い上げの日より1年間です**

保証期間中でも、有料になることがありますので保証書をよくお読みください。
※分解されますと、保証が無効になります。

■修理を依頼される時はP.9「故障かな?と思った時」をご確認ください

それでも異常がある時は、使用をやめて必ずプラグを抜きお買い上げの販売店まで保証書を添え、
この製品をお持込の上、修理をお申し付けください。

●保証期間中は保証書の規定に従って修理させていただきます

●保証期間が過ぎ修理によりご使用できる場合には有料で修理させていただきます

■出張修理は行っておりません

点検・修理の発送のために外箱・緩衝材を保管しておいてください。

■この製品についてのご意見・ご質問はカスタマーサービスセンターまでお申し付けください

●修理をお申し付けいただく前に取扱説明書をよくお読みの上ご使用方法をご確認ください

こんな時は	チ エ ッ ク	処 置
細断が途中で止まる	満杯/オーバーヒートランプが赤色点灯していませんか?	電源スイッチを切にしてモーターの温度が下がるまで約90分間休ませてください。
	電源/詰まりランプが橙色点灯していませんか?	紙を取り出してください。P.6「手差し細断中に紙が詰まった時」P.8「オートフィード細断中に紙束が詰まった時」参照
	紙を斜めに入れていませんか?	給紙口の▲印に合わせてまっすぐ入れてください。
	給紙口の幅より大きな紙を入れていませんか?	給紙口の幅より大きな紙は折って入れてください。折った時に定格細断枚数を超えた枚数にならないようにしてください。
	細断禁止物を入れていませんか?	細断禁止物は入れないでください。 P.5「故障の原因となるため絶対にお守りください」 P.6「手差し細断中に紙が詰まった時」 P.8「オートフィード細断中に紙束が詰まった時」参照
本体が熱い	満杯/オーバーヒートランプが赤色点灯していませんか?	電源スイッチを切にしてモーターの温度が下がるまで約90分間休ませてください。
刃の回転が止まらない	紙がオートスタート&ストップ機構のセンサー位置にはさまっていませんか?	細断屑をピンセット等で取り除いてください。 P.6「刃に細断屑が残っている場合」参照

以上のチェックを行っても直らない場合は、まずお求めの販売店まで下記の事項をできるだけ詳しくお申し付けください。

①故障状況 ②品番「S79MF/SA79MF」 ③ご購入年月日(保証書に記入されています。)

お願い 修理をお申し付けいただく時は付属品も一緒に持込ください

■便利メモ お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年 月 日	電話() -

愛情点検	長年ご使用のシュレッダーは点検を!	ご使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、安全性を損なって事故につながることがあります。
	このような 症状は ありませんか	<ul style="list-style-type: none"> ●電源を入れても細断しなかったり、途中で止まったりする。 ●電源コードに傷があつたり、動かすと通電したり、しなかつたりする。 ●異常な発熱・異音・異臭がする。  故障や事故防止のために、電源を切り、プラグをコンセントから必ず抜き、お買い上げの販売店まで修理をお申し付けください。

保証内容（修理規定）

- 取扱説明書・本体貼り付けラベル等の使用上の注意に従った使用方法で
保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ)無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店まで製品と本書とお買い上げが
証明できる領収書やレシートを[お持込]の上、修理をお申し付けください。
(ロ)お送りいただく場合の梱包・輸送の費用等はお客様のご負担になります。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
(イ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障・損傷。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移設・輸送・落下等による故障・損傷。
(ハ)火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)等
による故障・損傷。
(ニ)車両・船舶等に搭載された場合に生ずる故障・損傷。
(ホ)本書のご提示がない場合。
(ヘ)本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、
あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、
お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合には、
お買い上げの販売店またはカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

マイクロカットオートフィードシュレッダー 保証書

持込修理

お客様	お名前	様			
	ご住所	〒			
	電話番号	()	ー	印
	お買上げ日	年	月	日	印
販売店名・住所・電話番号					
電話() -					

品名 マイクロカット
オートフィードシュレッダー
品番 S79MF/SA79MF
保証期間 お買い上げより1年間

〈販売店様にお願い〉
左記に記入または捺印のない場合は、
必ず販売店様発行の領収書等、
お買い上げの年月日・店名等を
証明する物をお貼りください。

株式会社アスカ

カスタマーサービスセンター 050-3381-5100
受付時間:AM10:00~12:00/PM1:00~5:00
月曜日~金曜日
(祝祭日・年末年始・夏季休暇期間を除く)

修理メモ